

# 大学コンソーシアム富山 令和3年度地域課題解決事業申請書

( 新規 ・ 継続 )

自治体等名	富山県	担当者	所属 厚生部くすり政策課 氏名 藤岡 俊太郎 TEL 076-444-3236 E-mail shuntaro.fujioka@pref.toyama.lg.jp
地域課題名	医薬品産業に関する歴史的資料の集成と 未来志向の政策立案		事業費 750 千円
地域課題の 背景	<p>①江戸時代から続く富山県薬業は、薬のみならず電気・銀行等の県内業界の礎を築いた。</p> <p>②このことは、置県 100 年記念「富山県薬業史*」編さんにより、資料集成・編綴。 ※江戸～昭和初期まで資料集成・編集。</p> <p>③近年は、県内製薬企業の高品質な医薬品製造の信頼を基礎に、平成 27 年、28 年には 医薬品生産金額が全国 1 位になるなど、名実ともにくすりの富山となっている。</p> <p>④一方、国内成長率が低下し、海外販路や付加価値品が求められるなど新たな局面にある。</p>		
課題の概要	<p>(1) 課題＝解決したい問題の説明</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「富山県薬業史」編さん後、昭和後期以降の県薬業に関するまとまった資料がない。</li> <li>・こうしたなか、県薬業を牽引してきた各社代表等が近年逝去され、また、世代交代が進んでおり、記憶・口伝が薄れ、重要な資料や情報が散逸するおそれがある。</li> <li>・新たな局面を迎える県薬業にとって、これまでの薬業発展の歩み（＝本県薬業の強みや蓄積された産業集積など）を念頭に置きながら、さらに飛躍するための新たな風や取組みも必要となっている。</li> </ul> <p>(2) その課題解決において自治体が行うこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・必要な予算確保、必要な薬業振興政策の立案・実施</li> </ul> <p>(3) 高等教育機関に求めたいこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昭和後期～平成に係る県薬業に関する資料集成</li> <li>・製薬企業社長等の昭和・平成回顧録及び未来へのメッセージインタビュー</li> <li>・上記の資料やインタビューを踏まえた新しい薬業振興政策の企画提案</li> </ul>		
事業実施に 当たっての 協働体制	<p>【自治体等の役割】</p> <p>必要な予算確保、関連資料の紹介、製薬企業社長などキーパーソンの紹介</p> <p>【高等教育機関の役割】</p> <p>資料集成、インタビュー、薬業振興政策の企画提案</p>		
成果の活用 方法	<p>集成された資料・インタビューを、①「富山県薬業史（昭和・平成追補）」の編さんの基礎資料として活用、②学生等に PR し、本県薬業を支える人材としての意識醸成を図る。</p> <p>未来へのメッセージや企画提案を踏まえ、本県薬業がさらに発展するための、新しい薬業政策を立案していく。</p>		

## 【作成上の注意】

- 1 「事業費」欄は、高等教育機関に対し支出する金額を記入願います。  
(自治体等からの事業費が、本事業実施経費の全額となります。)
- 2 課題に関する詳細資料（秘密事項は除く）がある場合は、添付願います。
- 3 課題が複数ある場合は、別様に記載願います。
- 4 申請書は 1 ページに収める必要はありません。できるだけ具体的に記入願います。

## 参考

富山県薬業史について

[http://www.pref.toyama.jp/cms\\_sec/1208/kj00001064.html](http://www.pref.toyama.jp/cms_sec/1208/kj00001064.html)